

三重県明和町下御糸漁港 P R 資料

【地区の概要】

- 明和町は三重県のほぼ中央部にある伊勢平野の南部に位置し、東は伊勢市、西は松阪市、南は玉城町・多気町に接し、北は伊勢湾に接する。
- 下御糸漁港は、伊勢湾西部に位置し、北に狹師漁港、南に大淀漁港をひかえ、伊勢湾沿岸における数少ない未開発海岸線を有し、海岸は遠浅にして砂質地盤である。この地場を活かし、のり養殖業が盛んである。
- 昭和 63 年度より新下御糸漁港が計画され、第 8 次計画改修事業として工事に着手した。第 9 次計画においては、さらに各種施設の進捗を図るとともに、漁港施設の目的、効用が早急に発揮出来るよう関連道路等の整備に着手した。平成 14～23 年度の地域水産物供給基盤整備事業では防波堤、浮桟橋の設置による漁港機能の充実を図った。また、安全な漁業活動を行なえるよう、機能強化事業で西護岸へ消波ブロックを設置した。



【漁業の概要】

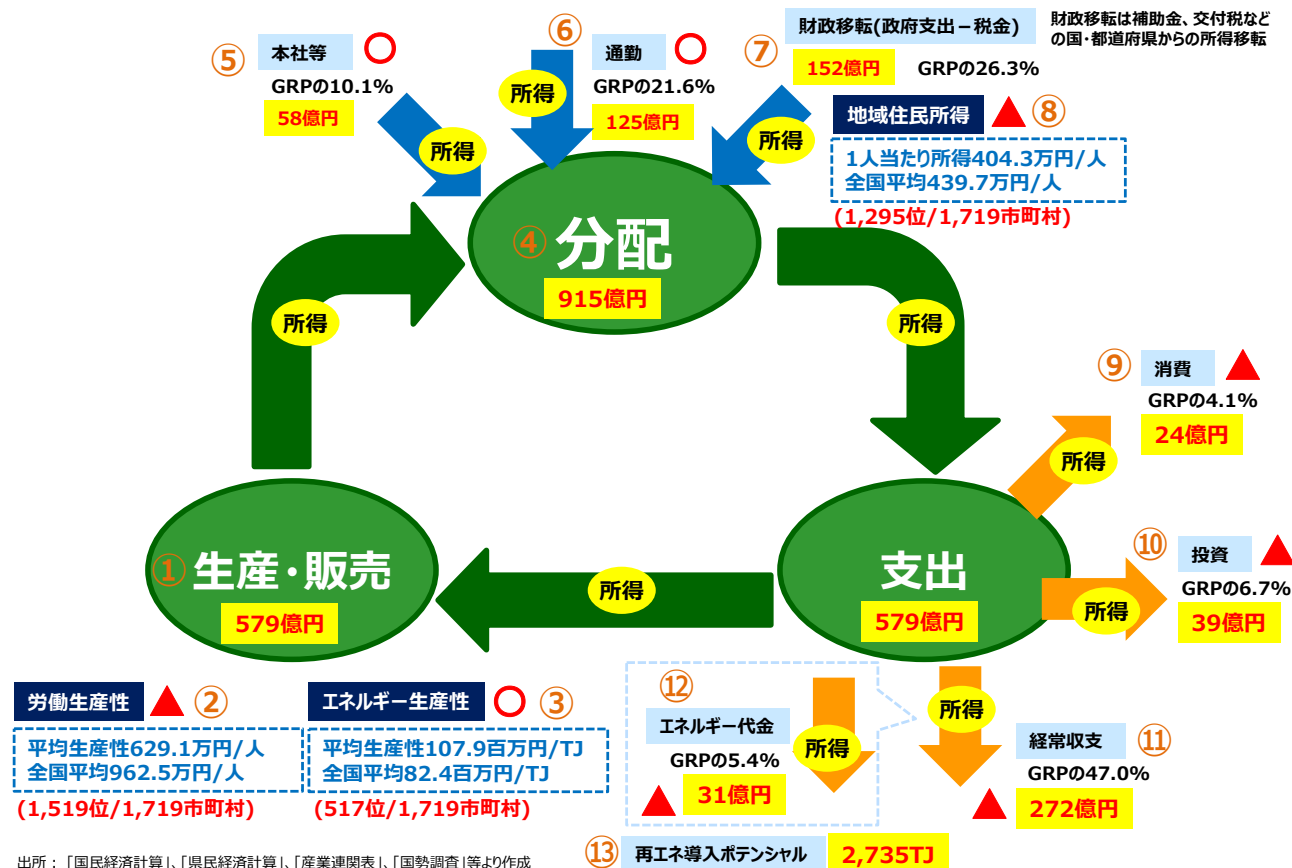
- 下御糸漁港における水産漁業は、主に伊勢湾漁協共同組合下御糸支所に担っていただいております、現在は正組合員 3 名、准組合員 60 名の計 63 名で構成されている。主な水揚げとしては、現在も続く黒海苔養殖と、平成 24 年度を最後に水揚げが途絶えているが、あさりを中心とした採貝漁業が挙げられる。
- 平成 23～24 年度のあさり漁の好調に比例し過去最多の 37 名に正組合員数が増員したのち、平成 25 年度以降あさが採れなくなったことを境に減少し、令和 3 年度末時点で 3 名と減少傾向にある黒海苔漁についても、担い手・後継者不足に伴い徐々に減少傾向にあり、現時点でも水揚げは保っているものの、水揚げ量は過去 10 年間最低となっており、全体を通じて、漁業継続が深刻な状況となっている。

【観光の概要】

- 三重県明和町は史跡斎宮跡をはじめとする歴史・文化資源や大淀海岸、斎宮調整池周辺（斎宮調整池・斎宮きららの森）等のレジャー・自然に関する資源など、様々な観光資源を有している。
- 平成 27 年 4 月には、斎王・斎宮を中心としたストーリー「祈る皇女斎王のみやこ 斎宮」が日本遺産に認定されたとともに、斎宮における平安時代の 3 棟の建物や道路などを復元整備した史跡公園「さいくう平安の杜」や「いつきのみや地域交流センター」がオープンした。
- 平成 31 年 2 月には明和町内に「観光」×「健康」×「物産」をテーマに事業を進める一般社団法人明和観光商社が設立、令和 2 年 10 月に観光庁より観光地域づくり法人（DMO）として登録された。

【地域経済】

- 生産・販売は、全体で579億円の収入があり、そのうち労働生産性は全国平均と比較すると低くなっているが、エネルギー生産性は107.9百万円/TJと全国平均より約26百万円/TJ多い。
- 分配は、全体で915億円の収入があり、そのうち通勤で125億円、財政移転が152億円の収入がある。また、本社等が明和町でない企業への流入が58億円あり、明和の地域住民所得は1人あたり404.3万円と全国平均より低い結果となっている。
- 支出は、全体で579億円であり、そのうち明和町内での消費は24億円の支出がある一方で、投資、経常収支、エネルギー代金は明和町以外に多くの支出が発生していることがわかる。



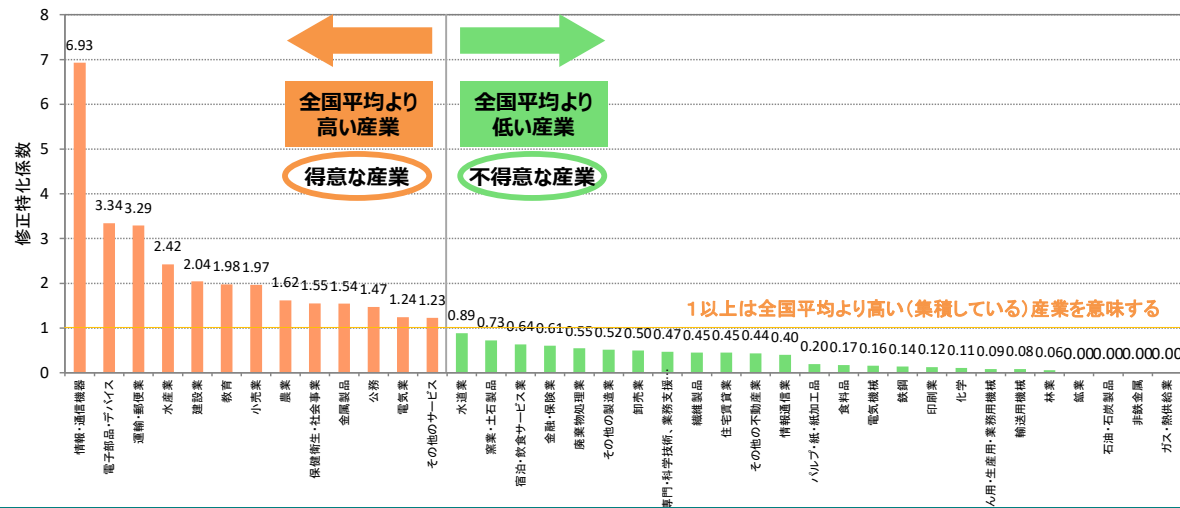
注1) 地域住民所得は、夜間人口1人当たりの所得(=雇用者所得+その他所得)を意味する。
 注2) エネルギー代金の収支は経常収支の内数であり、原材料利用や本社・営業所等の活動(=非エネルギー)は含まれない。※Ver5.0までは含まれる

明和町 下御糸漁港の概要

【地域経済】

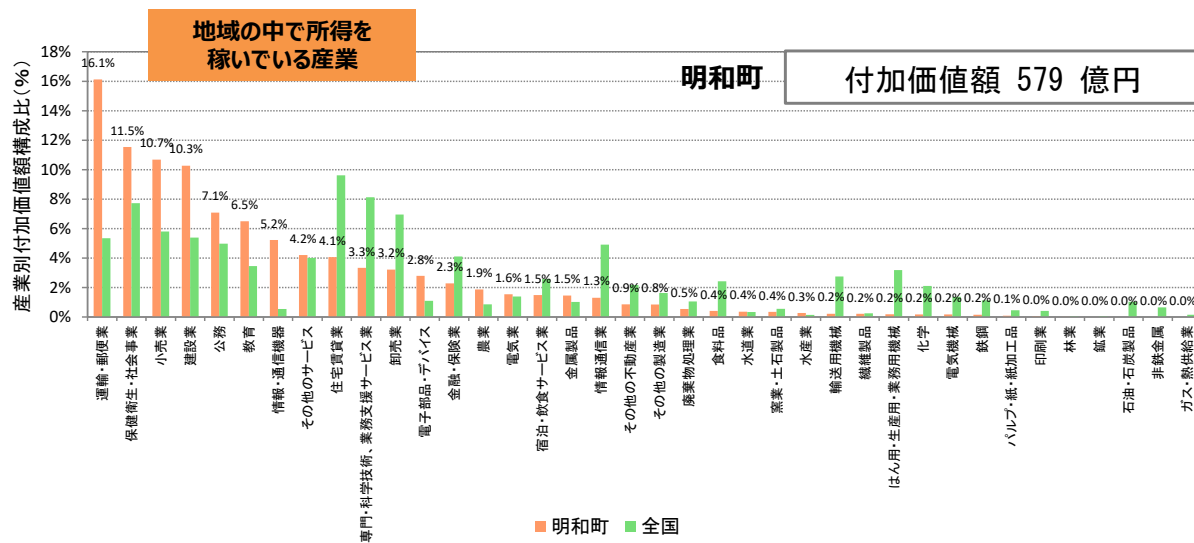
- 明和町は、情報・通信機器、電子デバイス、運輸・郵便業、水産業等に比較的優位性があり、付加価値額構成比は、運輸・郵便業、保健衛生・社会事業、小売業、建設業が上位である。

産業別修正特化係数（生産額ベース）



- 生産額ベースでの産業別修正特化係数で見ると、明和町の水産業は全国平均よりも高い。

産業別付加価値額構成比

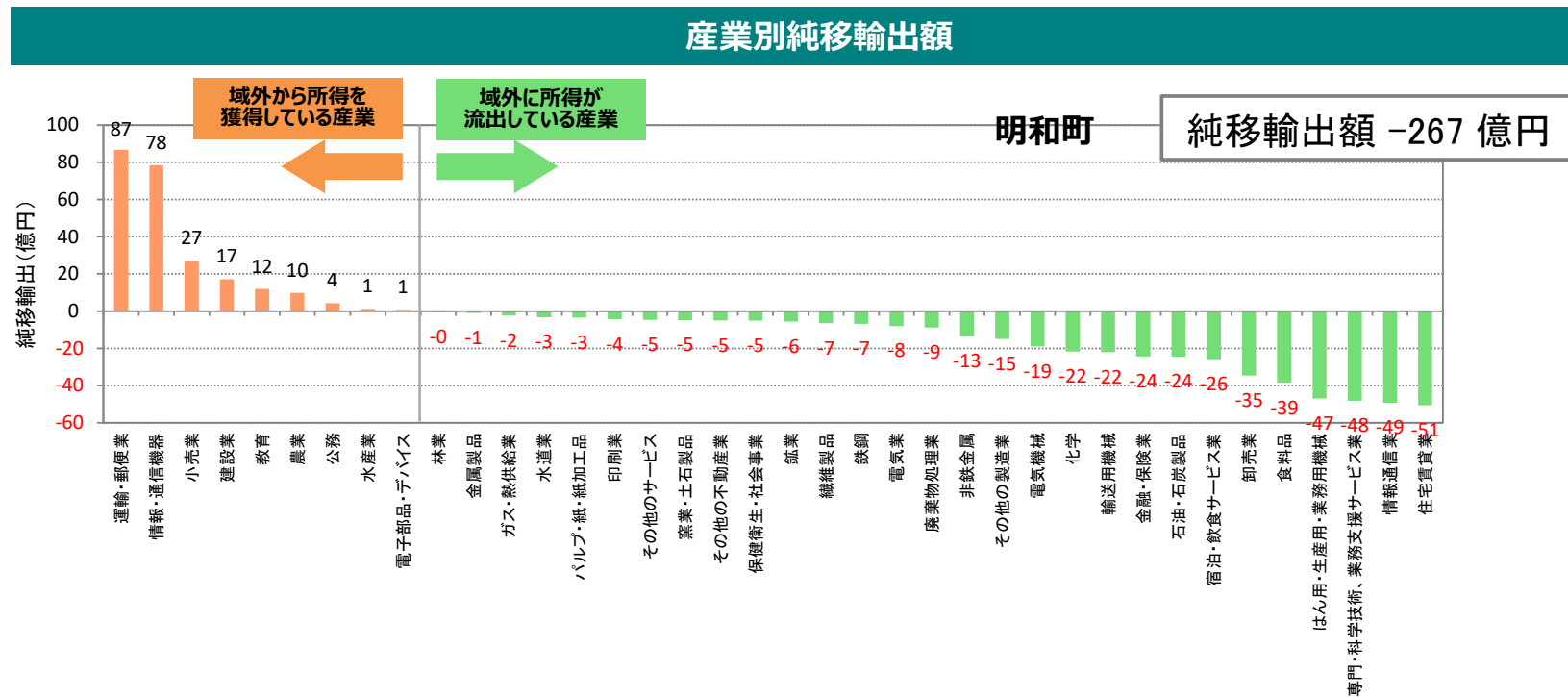


- 産業別付加価値額構成比では、水産業が0.4%である。

明和町 下御糸漁港の概要

【地域経済】

- 域外から所得を獲得している産業は運輸・郵便業、情報・通信機器、小売業、建設業、教育、農業等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

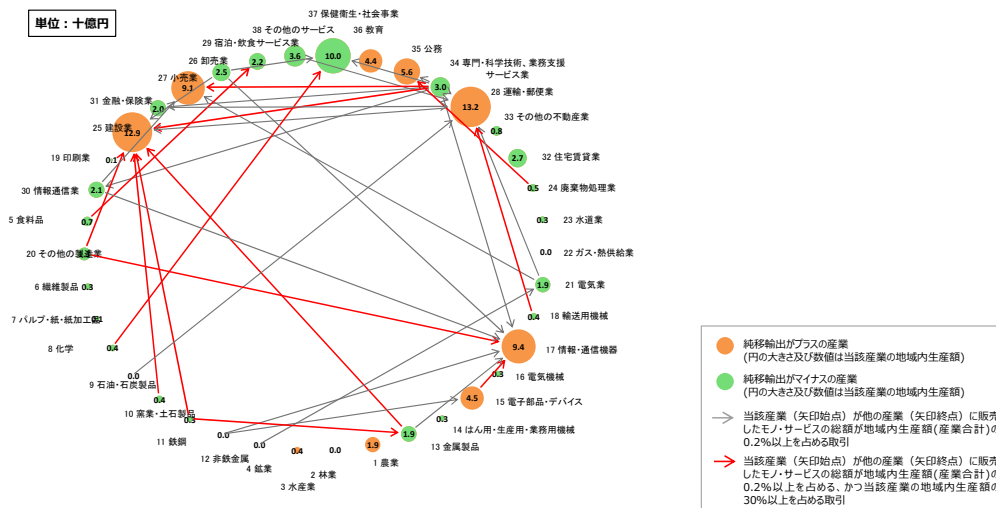


明和町 下御糸漁港の概要

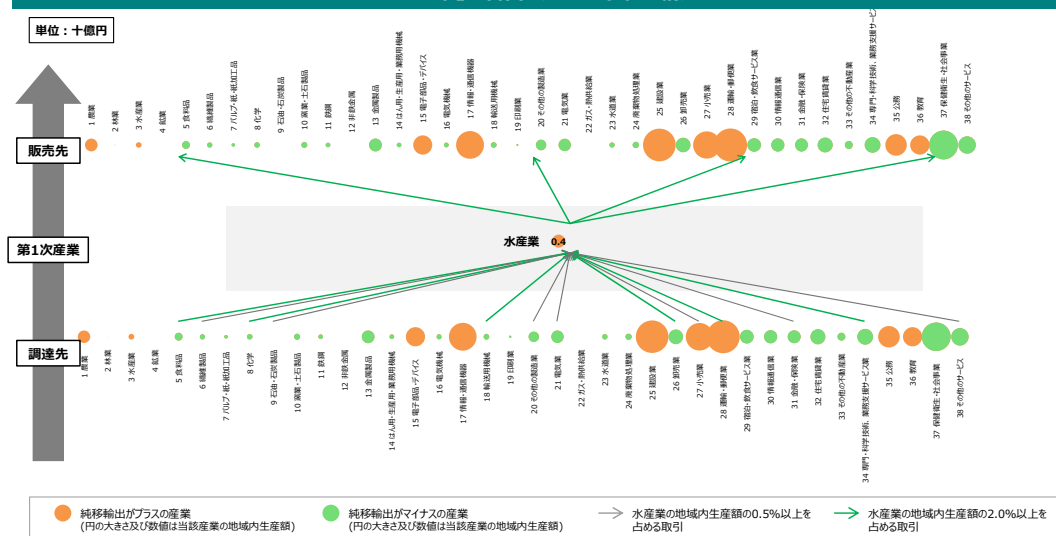
【地域経済】

- 明和町の水産業の場合、地域の経済規模に占める割合が大きい取引は見られない。
- 明和町の水産業は生産額4億円、純移輸出がプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができている。

地域の主要な産業間取引構造



「水産業」に着目した主要な取引構造



- 明和町の水産業は食料品、化学、輸送用機械、卸売業、運輸・郵便業からの調達が多く、食料品、その他製造業、宿泊・飲食サービス業、保険・への販売が多く、それらの産業の純移輸出はプラスとなっている。
- 明和町の水産業は、地域内の小売業や運輸・郵便業から養殖魚の飼料や漁業で用いる餌を調達し、水産物を地域内の飲食店等へ販売するといったサプライチェーンを構築している可能性があり、さらに小売業、運輸・郵便業は域外からも稼ぐ力を持っていると考えられる。

海業の事業計画骨子（案）【三重県明和町下御糸漁港】

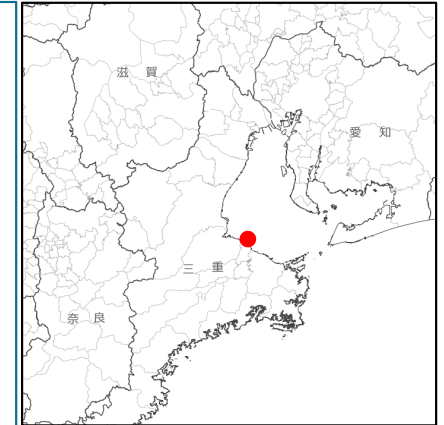
1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

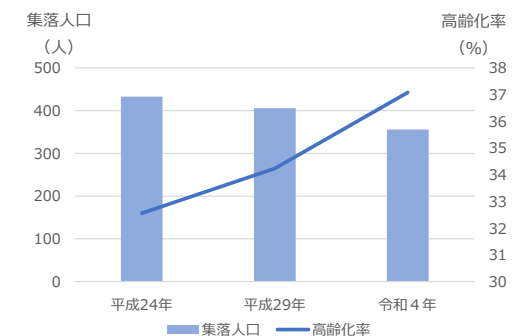
- 三重県明和町の漁港であり、伊勢湾西部に位置し、海岸は遠浅にして砂質地盤である。この地場を活かし、かつてはノリ養殖業が盛んであった。
- 漁業者の高齢化に加え、平成26年度以降あさり等貝類が採れなくなったこともあり、正組合員数は令和3年度末時点で3名と大幅に減少している状況である。
- ノリ養殖業についても、現時点でも水揚げは保っているものの、水揚げ量は過去10年間最低となっており、漁業の継続が困難な状況となっている。

【海業の現状と課題】

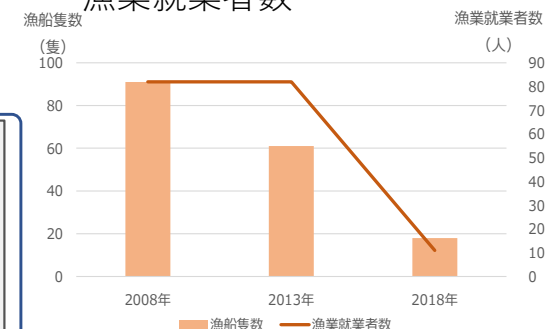
- 深刻な担い手減少に伴い水産関連産業等が衰退しており、地域産業の再興と雇用の創出が望まれている。
- 漁港内未利用地を活用した取り組みや漁港内を活用した養殖など、新たな水産業、新たな地域産業の創出（海業）による下御糸漁港の再整備と活性化が必要となっている。



■漁港背後集落の人口と高齢化率



■漁港背後集落の漁船隻数と漁業就業者数



2. 検討体制

漁業者
(下御糸、大淀両地区)

意見提示

めいわ海業推進協議会

海業の企画検討、事業化検討
事業実施にかかる漁業者・地域調整

【メンバー】

- ・(一社)明和観光商社 (主催者)
- ・伊勢湾漁業協同組合 (漁業者)
- ・三重県/明和町役場 (行政)
- ・東京海洋大学 (研究・教育機関)
- ・(株)On-Co/(株)ゲイト/(株)マインドシェア/(一社)未来の大人プロジェクト/(株)ゼットン等 (民間企業)

海業の事業計画骨子（案）【三重県明和町下御糸漁港】

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

3. 海業の方針

まずはイベント等ソフト事業を展開して賑わいを創出し、実績をつくりながら、段階的にハード事業を展開していく。

【取組】

- 漁港を活用したイベントを実施、賑わい創出・実績づくり
 - 給電・給水・インフラ整備による来訪者の滞在環境向上・多目的利活用推進
 - 宿泊・飲食機能（宿泊機能提供用地の確保、直売所等のサービス施設の設置等）
 - ヘリポート、水上飛行機等先進的かつモデル性の高い設備や機能の導入
- ※前提として、漁港施設のゾーニングにより漁業との共存、大淀漁港との役割分担

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果

①イベント・飲食・物販スペース整備（地域商社）

- ※運営は民間事業者
- ※飲食提供や直売を実施（民間事業者等）

【期待される効果】

- 域内水産物消費拡大
- 漁業所得の向上
- 来訪者の増加

②漁港の利用（漁協など）

- ・海洋環境や水産業を学ぶフィールド活用

【期待される効果】

- 漁業者所得の拡大
- 水産業への理解増進
- 地域の漁業担い手の確保

③多目的利用スペース整備（地域商社）

- ・自然体験施設、キャンプ施設等の検討
- ・給電・給水設備の導入
- ※ノリ施設への夜間照明の影響配慮必要
- ※大淀地区のキャンプ場とのすみ分け検討

【期待される効果】

- 地域での事業収入の確保
- 来訪者滞在時間延伸
- 地産農水産物の消費拡大

④ヘリポート整備

【期待される効果】

- 観光地としての魅力の増大
 - 富裕層の来訪
- ※位置は仮

⑤マリンアクティビティ体験拠点（漁協倉庫）

- ・ボート艇庫、ワーケーション拠点活用など

【期待される効果】

- 地域での事業収入の拡大
- 来訪者の増加



海業で実施する事業の内容と体制案

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

① イベント実施・飲食機能整備

■事業の概要：フィッシャーマンズマーケット等漁港を活用したでのイベント実施、生け簀や蓄養水槽を導入した漁業レストラン、直売所の整備による飲食提供・直売を実施

■実施主体：地域商社、運営組織より委託された事業者

■開始時期：イベント実施は令和6年度から実施（短期）、飲食整備機能は令和通年（イベントは不定期開催）10年度迄に実施（中期）

■実施時期：イベントは不定期、飲食機能は通年

《取扱商品、サービスの内容と価格》

- ・ イベント実施：3,000円/組（飲食1回当たりの平均単価）
- ・ BBQ施設の整備：5,000円/組（食材は別途販売）
- ・ 海鮮レストラン事業の実施：客単価3,000円程度

《取扱商品、サービスのセールスポイント》

- ・ 下御糸漁港や近隣漁港で採れた海産物を、生け簀や蓄養槽を活用して活魚で販売可能。新鮮な魚をその場で焼いて食べることでできるBBQやその場で締めて捌いた刺身等の提供が可能。
- ・ 地域の名産品である松阪牛とのタイアップコンテンツ造成（下御糸（みいと）とMEAT（ミート）との語呂のかけあわせでのPR）や海鮮の加工品も提供し、お土産の購入数増を図る。

《販売ターゲット、見込客数、販売戦略》

- ・ 明和町に既に斎宮等に来訪している年間23万人の観光客を誘客。

《競合・市場など企業を取り巻く状況》

- ・ 大淀漁港にキャンプ場は存在するが、直売所等は存在せず、設置により明和町での新たな魅力創出につながる可能性がある。一方で下御糸漁港では水揚げされておらず、生け簀等の整備から始める必要がある。あわせてほぼ全ての事業に共通するが、大型バス受入（特に教育旅行受入の場合）に向けた道整備や駐車場の整備が必要。

②漁業施設の利用（漁協など）

■事業の概要：ノリ付等、海洋環境や水産業を学ぶフィールドとしての活用

■実施主体：漁協など

■開始時期：令和10年度迄に事業開始予定（中期）

■実施時期：11月～7月

《取扱商品、サービスの内容と価格》

- ・ 3,000円/回（ガイド1回あたり）

《取扱商品、サービスのセールスポイント》

- ・ 伊勢湾漁業協同組合で普段実施しているノリ種付等漁業の紹介や海洋環境の説明を通じ、漁業への関心喚起や、長期的な視野としての漁業の就業継承につなげる。
- ・ 明和町における斎宮等の文化事業とタイアップすることで、地域歴史と産業を学べるツアーとしての展開。学習コンテンツとしての造成。

《販売ターゲット、見込客数、販売戦略》

- ・ 明和町及び中部圏、関西圏の校外学習。伊勢神宮参り等の修学旅行の旅程のうち1日を明和町にて体験して頂けるような旅行プランとして造成する。
- ・ 三重大学等教育機関の研究フィールドとしての連携。

《競合・市場など企業を取り巻く状況》

- ・ 教育旅行において体験型コンテンツのニーズが高まっている。
- ・ 一方でほぼ全ての事業に共通するが、大型バス受入（特に教育旅行受入の場合）に向けた道整備や駐車場の整備が必要。

③多目的スペース整備

■事業の概要：自然体験施設、キャンプ施設等の施設整備、あわせてキャンピングカー等の誘客に向けた給電・給水設備の導入

■実施主体：地域商社

■開始時期：令和10年度迄の事業開始予定（中期）

■実施時期：11月～7月

≪取扱商品、サービスの内容と価格≫

- ・8,000円/回（キャンプサイト1個あたり）

≪取扱商品、サービスのセールスポイント≫

- ・②漁港の利用で提供する漁業体験とのコラボレーション。

≪販売ターゲット、見込客数、販売戦略≫

- ・近隣及び中部圏、関西圏からの家族層、キャンプ泊に関心のある層を対象。

≪競合・市場など企業を取り巻く状況≫

- ・施設整備計画の立案から検討が必要。特に近隣の大淀漁港にキャンプ場を有するため、機能分担や狙うターゲットの整理等すみわけが必要。
- ・コロナ禍をきっかけにキャンプは一大ブームとなっており、集客が期待できる。
- ・ほぼ全ての事業に共通するが、大型バス受入（特に教育旅行受入の場合）に向けた道整備や駐車場の整備が必要。

④ヘリポート整備

- 事業の概要：ヘリポートを整備する。
- 実施主体：地域商社（整備は公共か 要確認）
- 開始時期：令和15年度迄の事業開始予定（長期）
- 実施時期：11月～7月
- 《取扱商品、サービスの内容と価格》
 - ・ 50,000円/回（ヘリポート利用1回あたり）
- 《取扱商品、サービスのセールスポイント》
 - ・ 先進的な設備導入によるPR・特別感を演出。
 - ・ 三重県内の他漁港・ヘリポート設備との周遊ルートの構築での近隣との連携によるPR。パッケージ化による他地域の魅力との相乗効果創出。
- 《販売ターゲット、見込客数、販売戦略》
 - ・ 富裕層、インバウンド向け、芸能人など。
- 《競合・市場など企業を取り巻く状況》
 - ・ 二次交通の手段として県としてヘリポート整備の検討を実施中、実証実験を2023年冬に実施しており、事業化の可能性を検討している。

⑤マリンアクティビティ体験拠点

- 事業の概要：カヤック、ボートなど海のアクティビティの拠点としての利用
- 実施主体：地域商社
- 開始時期：令和6年度以降に開始（短期）
- 実施時期：11月～7月
- 《取扱商品、サービスの内容と価格》
 - ・SUP体験：10,000円/回（ガイド1回あたり）
 - ・カヤック：10,000円/回
- 《取扱商品、サービスのセールスポイント》
 - ・用具レンタル等により気軽に利用しやすい環境を整備。
 - ・明和観光商社にて実施しているレンタサイクル事業との連携、周遊ルートでのPR。（レンタサイクル⇒下御糸漁港での体験 等）
- 《販売ターゲット、見込客数、販売戦略》
 - ・明和町及び中部圏、関西圏の校外学習。伊勢神宮参り等の修学旅行の旅程のうち1日を明和町にて体験して頂けるような旅行プランとして造成する。
 - ・近隣及び中部圏、関西圏からの家族層等アクティビティ体験に関心のある層に販売。
- 《競合・市場など企業を取り巻く状況》
 - ・明和町においてビーチバイク等は商社にて実施しているがマリンアクティビティ事業が無いいため新たなコンテンツとなり得る。陸の他体験とのパッケージ化で差別化を図ることも出来る。

海業で実施する事業の内容と体制案

参考

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

- ・段階的にイベント等ソフト事業を展開して賑わいを創出し、実績をつくりながら、段階的にハード事業を展開していく。(以下段階イメージ記載・写真はイメージ)



【STEP1】

賑わい創出・実績づくり
(ソフト事業展開)

- ・漁港を活用したイベントを実施していき、下御糸漁港を人が集まる場所とする。
- ・明和町における観光客(年間23万人)の一部が回遊する仕組みづくりを行う。



【STEP2】

段階的なハード整備①

- ・来訪者の滞在環境を向上させるため、また多目的な利活用を推進するため、給電・給水・インフラ整備を進めていく。



【STEP3】

段階的なハード整備②

- ・集まった人たちに対して更に宿泊・飲食等の機能も含めるため、キャンプ場用地の確保、触媒所等のサービス施設の設置を進めていく。



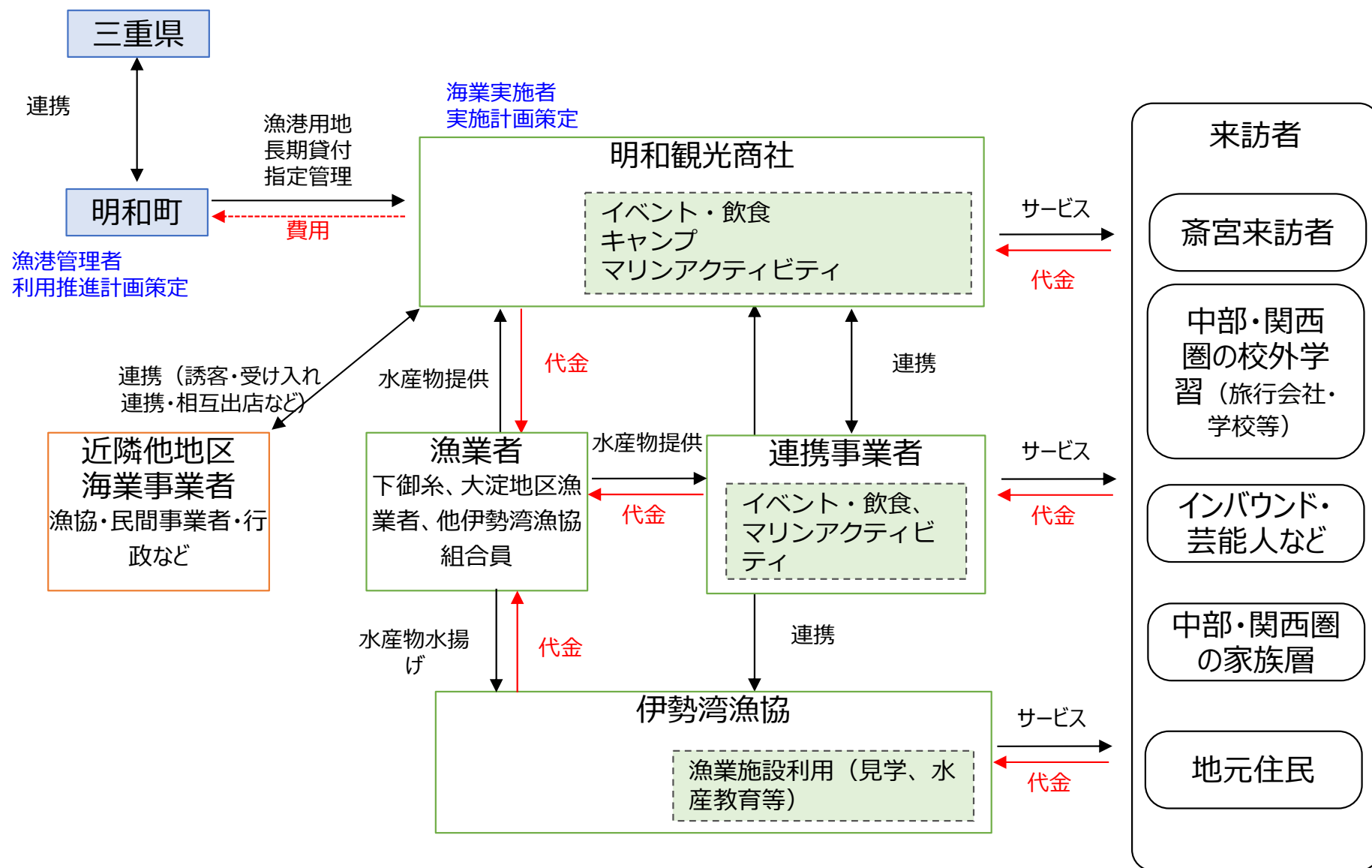
【STEP4】

段階的なハード整備③

- ・ヘリポート、水上飛行機等先進的かつモデル性の高い設備を導入していく。

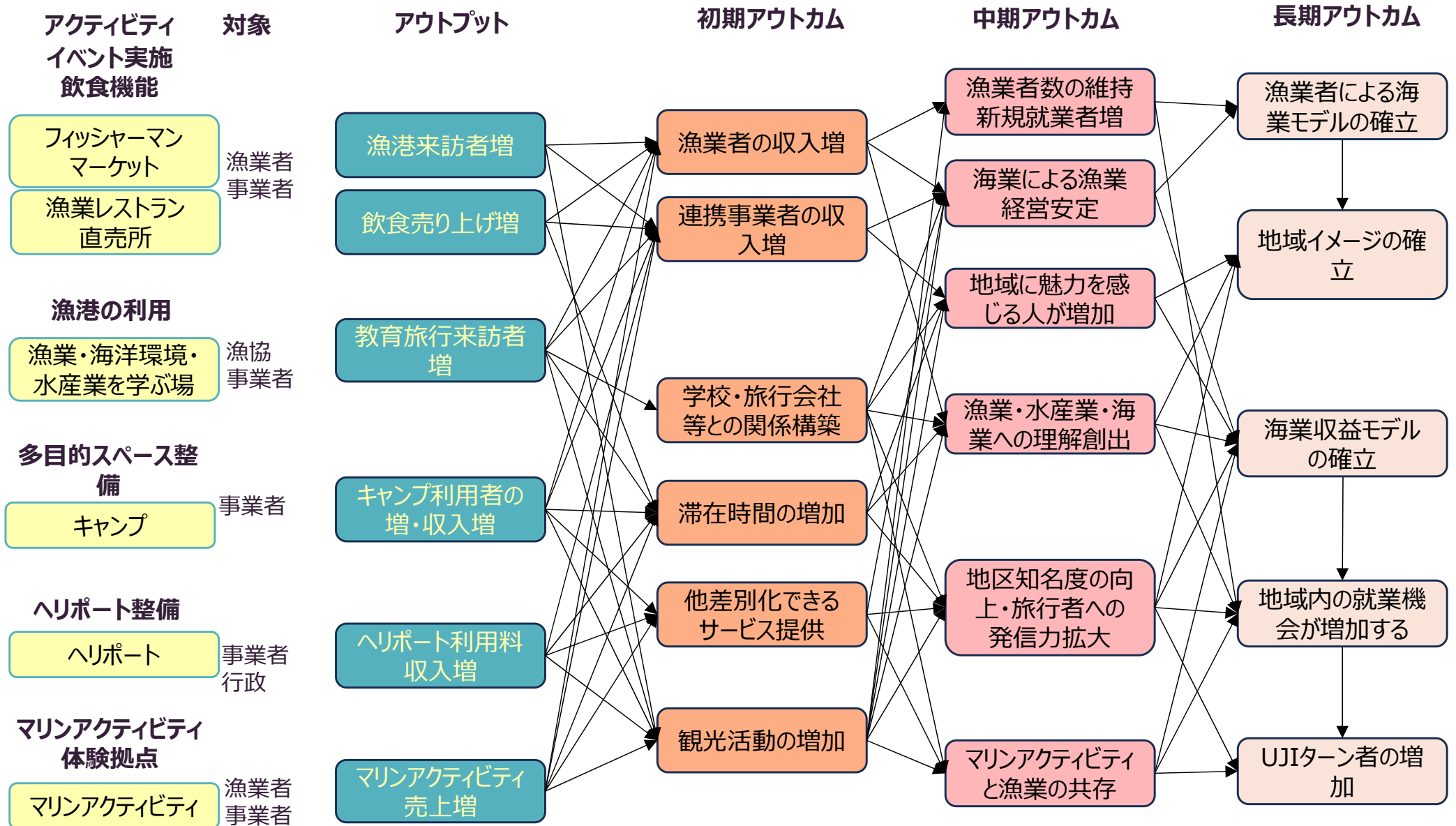
海業の関係主体間の経済関係

令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。



期待される効果

事業の効果



令和5年度調査当時の内容であり、決定事項ではありません。

事業名	事業 主体	実現までの実施事項					実施時期										
		実施項目	概要	実施主体	活用したい 支援事業	想定概算 費用	短期					中期					R16～
							R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
イベント・飲食機 能整備		イベント実施	フィッシャーマンズマーケット等イベント実施	明和観光農山漁村振興 交付金			試行実施			インフラ等整備の上での定期開催							
		飲食機能整備	レストラン、生け簀等整備	民間企業等				試行実施									
漁港の利用（漁協など）		漁港体験造成	ツアー造成	明和観光農山漁村振興 交付金			試行実施			事業化							
		漁港体験実施	ツアー運営	明和観光農山漁村振興 交付金			試行実施										
多目的スペース整備		キャンプ場整備	用地整備	明和観光農山漁村振興 交付金			試行実施										
			運営主体検討	明和観光農山漁村振興 交付金													
ヘリポート整備		ヘリポート整備	富裕層向けのヘリポート整備（用地決定⇒整備）	民間企業			実現化調査										
		富裕層向けツアー造成	周遊ルートの構築	明和観光農山漁村振興 交付金			ツアー試行										
マリンアクティビティ体験拠点		マリンアクティビティ体験造成	SUP、カヤック等の体験アクティビティ商品造成	明和観光農山漁村振興 交付金			必要インフラ等の検討										
		マリンアクティビティ体験実施	SUP、カヤック等の体験アクティビティ商品実施	明和観光農山漁村振興 交付金			試行実施										